2016年3月期
第2四半期決算説明会資料

2015年11月6日
株式会社エフテック
東証1部:7212
http://www.ftech.co.jp

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 業績予想

3. 基本情報

4. 経営戦略

5. トピックス

代表取締役社長
福田　祐一

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 業績予想

3. 基本情報

4. 経営戦略

5. トピックス

代表取締役社長
福田　祐一

連結決算概要（前年同期比）

（単位：百万円）

	2014年度2Q 累計実績		2015年度2Q 累計実績		増減	
売上高	84,450	100.0%	93,983	100.0%	9,532	11.3%
営業利益	2,232	2.6%	2,115	2.3%	▲116	▲5.2%
経常利益	2,143	2.5%	2,102	2.2%	▲40	▲1.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	521	0.6%	420	0.4%	▲101	▲19.4%
1株利益（円）	33.96	―	27.37	―	▲6.59	▲19.4%

為替

	2014年度	2015年度	増減額
1US$	103.61円	121.72円	18.11円
1CAN$	95.07円	95.62円	0.55円
1人民元	16.56円	19.36円	2.80円

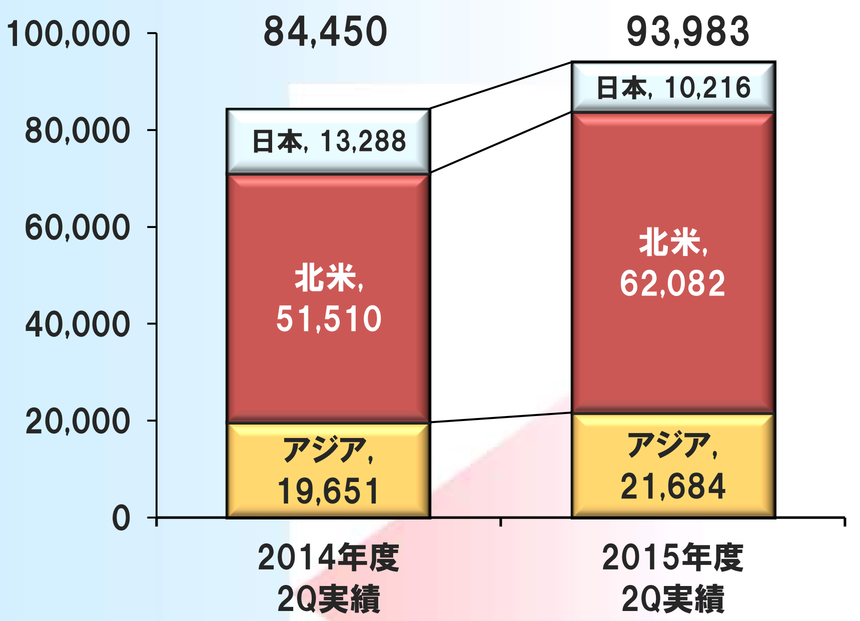
増収減益（増収は為替換算影響、減益は日本の主要得意先売上減少影響）

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

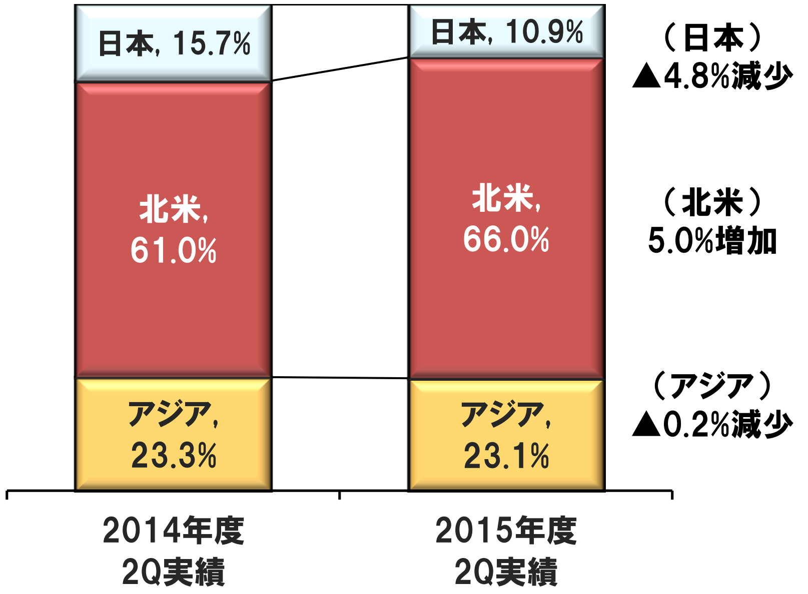
連結売上高(前年同期比)

（単位:百万円）

セグメント別連結売上高(金額)



売上高シェア(%)



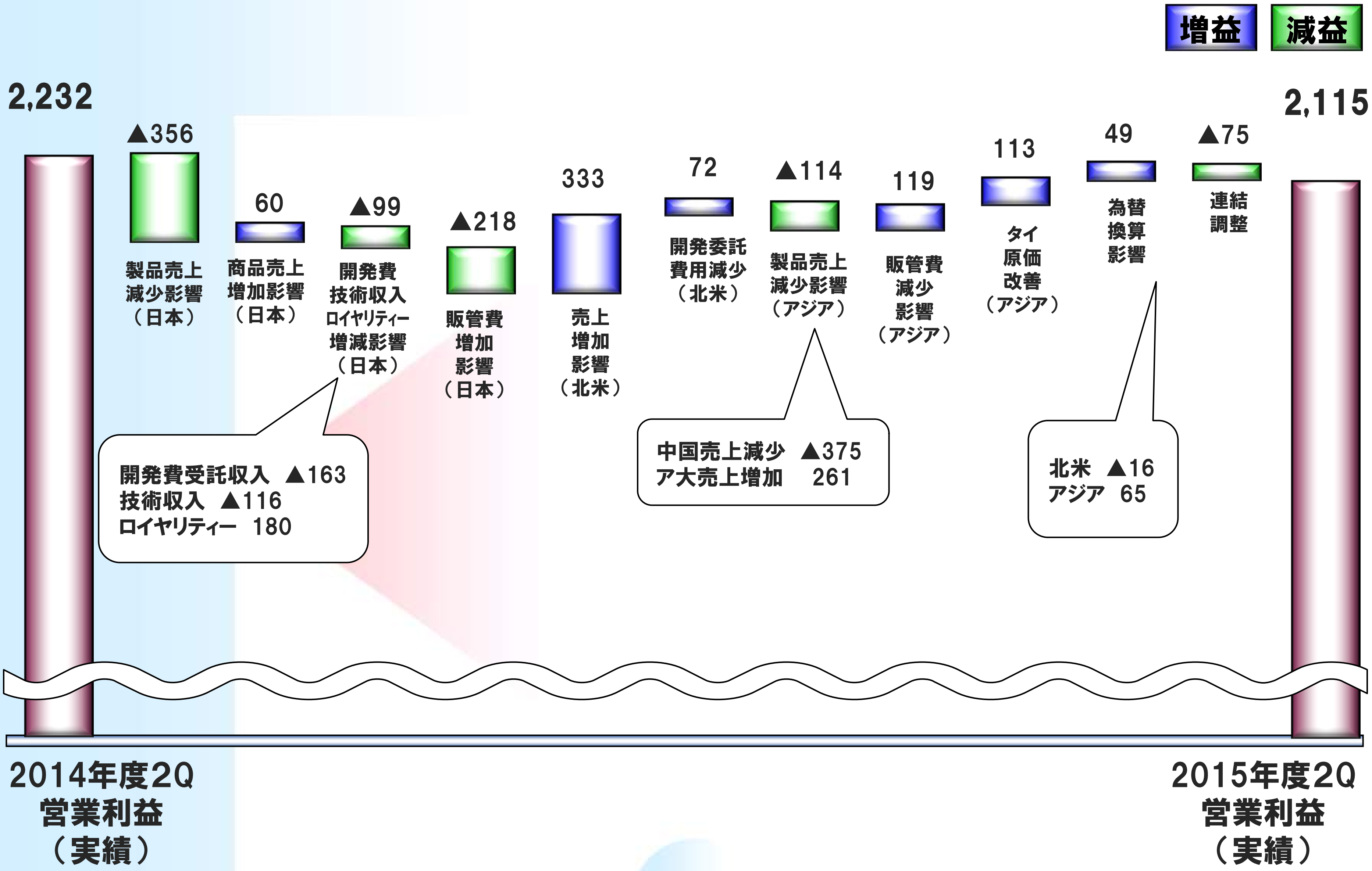
連結売上高増減

	'14年度2Q	'15年度2Q	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	13,288	10,216	▲3,072	▲23.1%	ー	▲3,072	▲23.1%
北米	51,510	62,082	10,572	20.5%	6,318	4,253	8.3%
アジア	19,651	21,684	2,032	10.3%	3,445	▲1,413	▲7.2%
連結	84,450	93,983	9,532	11.3%	9,764	▲231	▲0.3%

北米地域の売上高が増加、連結売上の89.1%が海外セグメント

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

営業利益増減要因



Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

セグメント別営業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

	2014年度2Q 累計実績		2015年度（2Q） 累計実績		増減額	増減率
	営業利益	地域シェア	営業利益	地域シェア		
日本	37	1.7%	▲575	▲27.2%	▲613	－
北米	1,711	76.6%	2,100	99.3%	389	22.8%
アジア	191	8.6%	373	17.7%	182	95.2%
合計	1,940	86.9%	1,899	89.8%	▲41	▲2.1 %
調整	292	13.1%	216	10.2%	▲75	▲25.8%
連結	2,232	100.0%	2,115	100.0%	▲116	▲5.2%

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 業績予想

3. 当社の特徴

4. 経営戦略

5. トピックス

代表取締役社長
福田　祐一

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

連結業績予想(2015年度予想)

（単位：百万円）

	2015年度通期（8/5発表）		2015年度通期（11/5発表）		増減	
売上高	185,000	100.0%	194,000	100.0%	9,000	4.9%
営業利益	6,500	3.5%	6,500	3.4%	―	―
経常利益	6,200	3.4%	6,300	3.2%	100	1.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,600	1.4%	2,500	1.3%	▲100	▲3.8%
1株利益（円）	169.31	―	162.80	―	▲6.51	▲3.8%

為替

	2015年度(8/5)	2015年度(11/5)	増減額
1US$	115.00円	119.86円	4.86円
1CAN$	93.00円	91.31円	▲1.69円
1人民元	18.00円	18.98円	0.98円

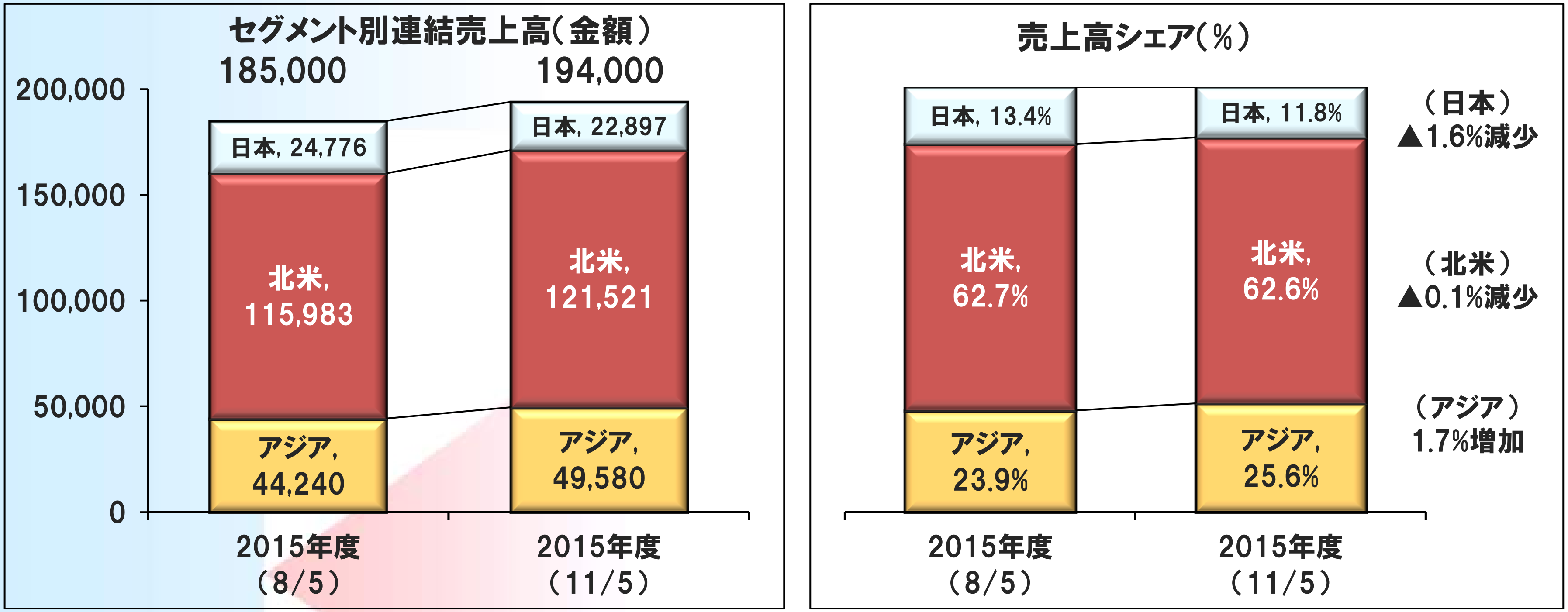
※下半期の想定為替レートは1US$：118.00円、1CAN$：87.00円、1人民元：18.00円

増収(増収は為替換算影響、最終利益減少は被支配株主に帰属する当期純利益の増加)

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

連結売上高（2015年度通期予想）

（単位：百万円）



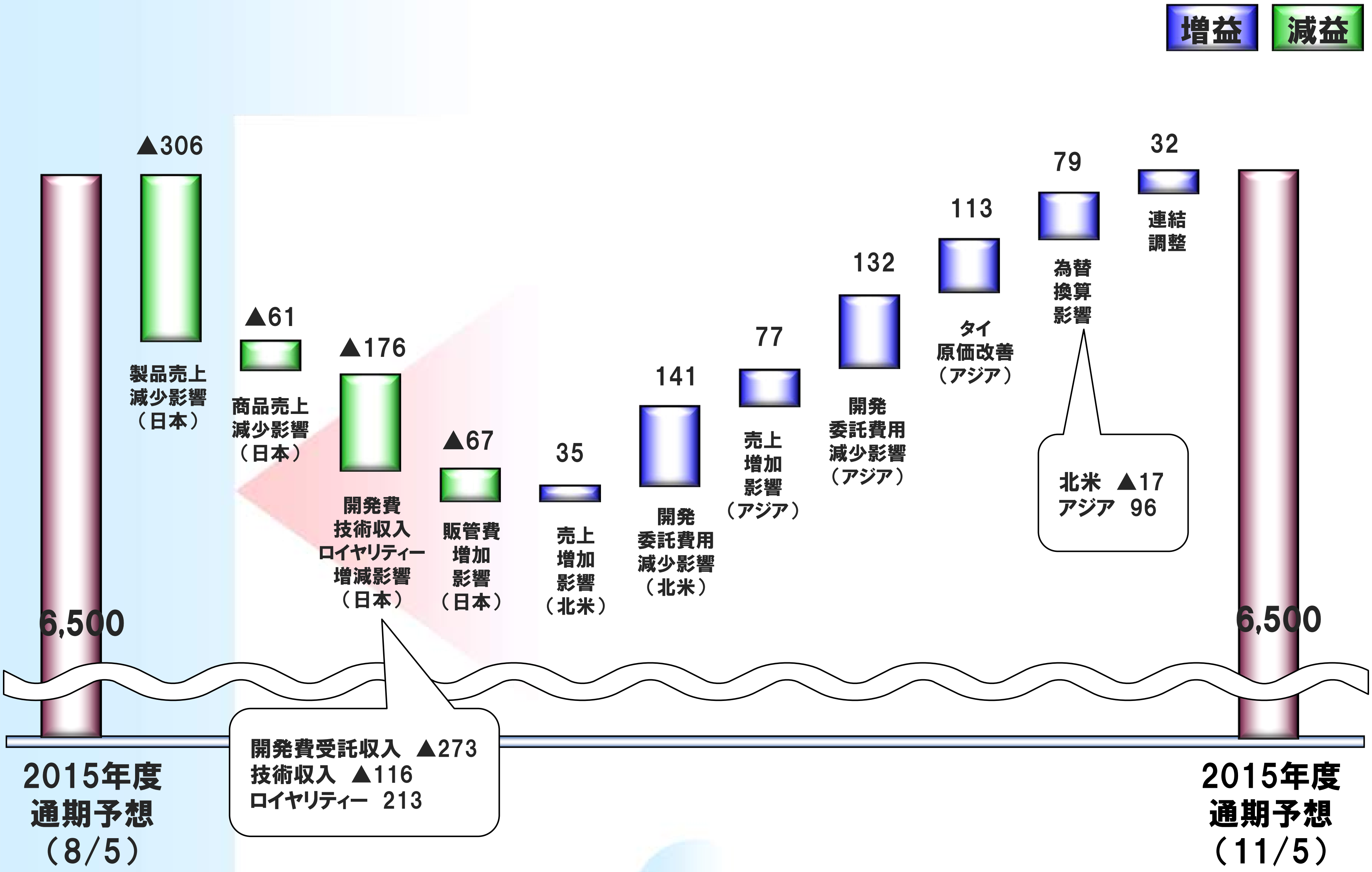
連結売上高増減

	8/5発表	11/5発表	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	24,776	22,897	▲1,878	▲7.6%	－	▲1,878	▲7.6%
北米	115,983	121,521	5,538	4.8%	2,405	3,133	2.7%
アジア	44,240	49,580	5,340	12.1%	2,108	3,232	7.3%
連結	185,000	194,000	9,000	4.9%	4,514	4,486	2.4%

北米は堅調、アジアは下半期に回復し実質増加へ、日本セグは下半期で回復傾向も減収

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

営業利益増減要因



Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

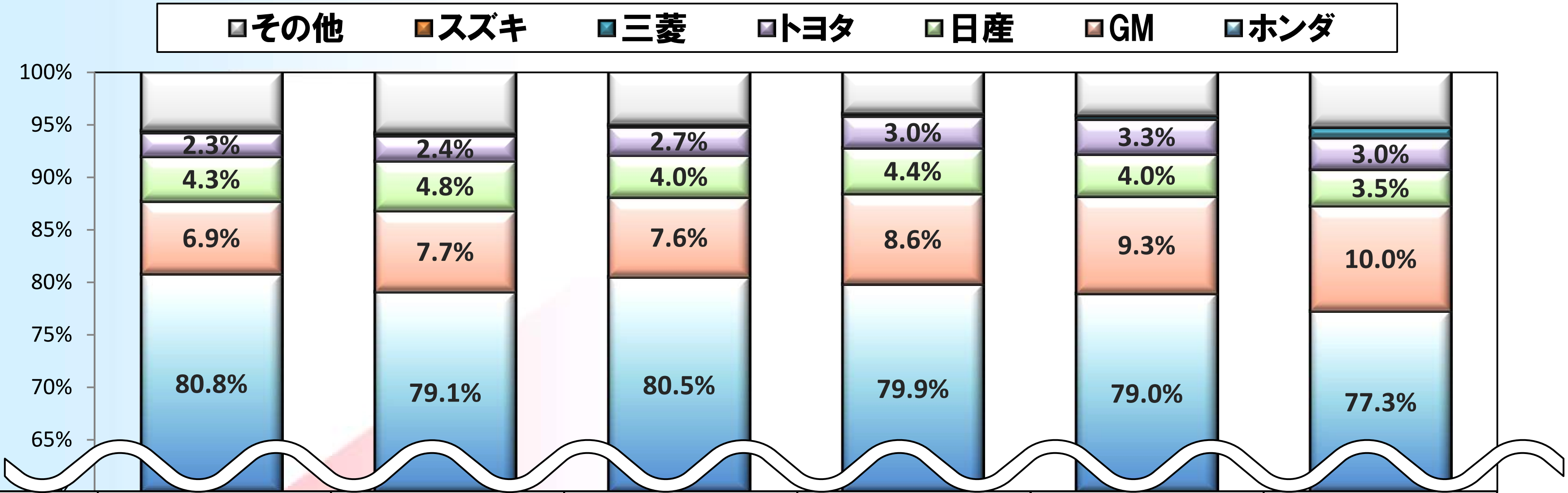
セグメント別営業利益(2015年度通期予想)

（単位：百万円）

	2015年度通期予想（8/5）		2015年度通期予想（11/5）		増減額	増減率
	営業利益	地域シェア	営業利益	地域シェア		
日本	1,047	16.1%	437	6.7%	▲610	▲58.3%
北米	4,105	63.2%	4,265	65.6%	159	3.9%
アジア	1,797	27.7%	2,215	34.1%	418	23.3%
合計	6,950	106.9%	6,918	106.4%	▲32	▲0.5%
調整	▲450	▲6.9%	▲418	▲6.4%	32	▲7.2%
連結	6,500	100.0%	6,500	100.0%	―	―

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

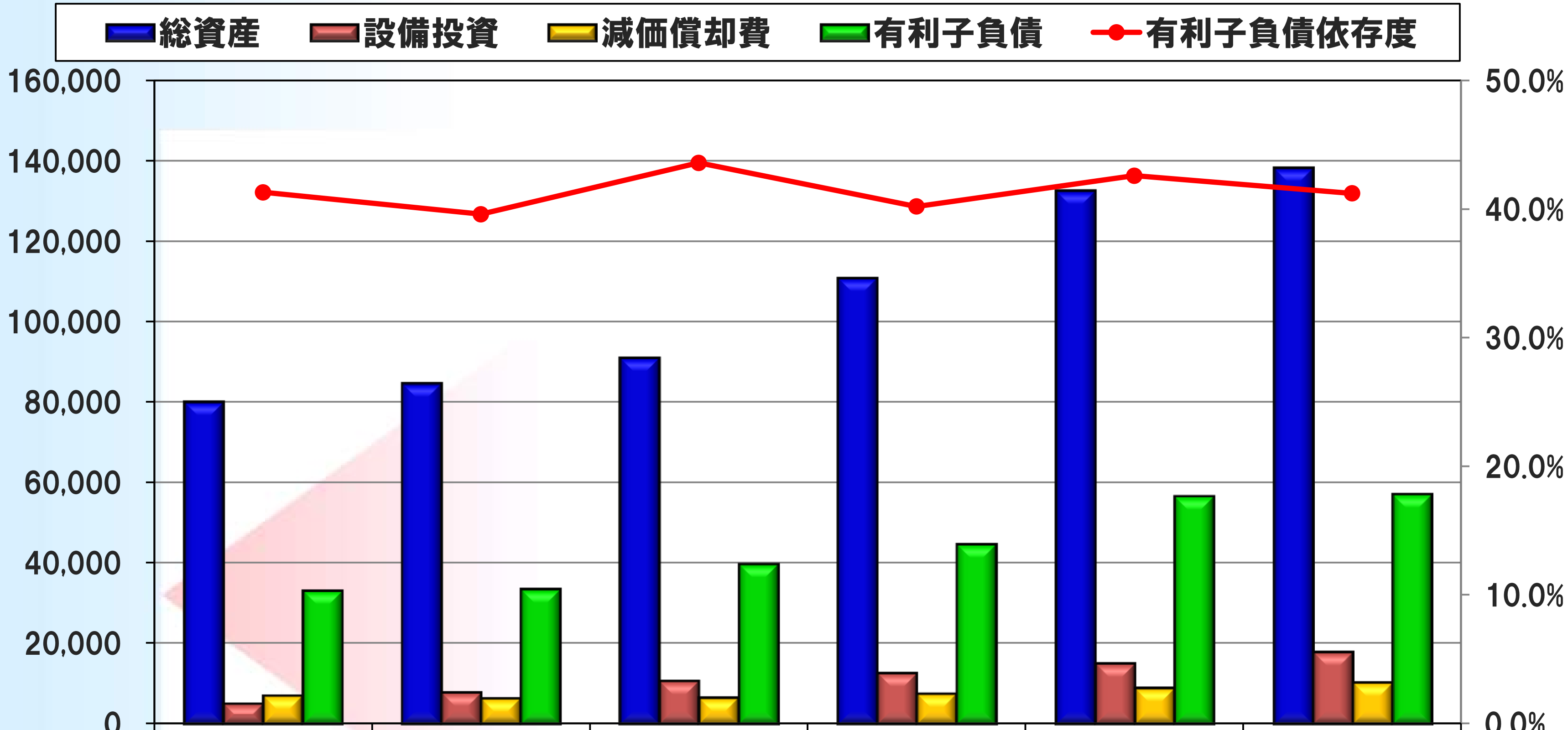
得意先別売上高の推移



	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
ホンダ	111,300	103,340	116,046	137,708	138,635	150,014
GM	9,533	10,082	10,935	14,863	16,304	19,407
日産	5,886	6,208	5,773	7,535	7,024	6,754
トヨタ	3,136	3,131	3,919	5,209	5,875	5,914
三菱	248	289	217	369	526	2,018
スズキ	88	91	114	127	135	286
その他	7,515	7,468	7,085	6,645	7,080	9,606
	137,706	130,609	144,089	172,456	175,579	194,000

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

財務の状況



	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
総資産	80,220	84,796	91,200	111,062	132,697	138,390
設備投資	5,095	7,872	10,696	12,715	14,987	17,879
減価償却費	7,017	6,374	6,544	7,508	8,920	10,200
有利子負債	33,157	33,567	39,786	44,679	56,570	57,055
有利子負債依存度	41.3%	39.6%	43.6%	40.2%	42.6%	41.2%

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 業績予想

3. 基本情報

4. 経営戦略

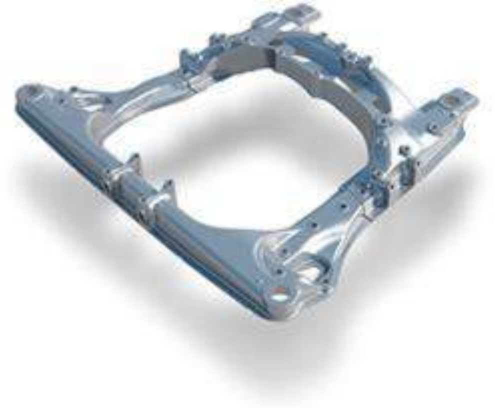
5. トピックス

代表取締役社長
福田　祐一

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

会社概要

会　社　名	株式会社エフテック
資　本　金	47.9億円
発行済株式数	15,390,000株
設　立	1947年7月1日
本社住所	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
従業員 単体	952人（163名）　（）内は海外、関係子会社への出向者
連結	7,773人（1,660人）　（）内は平均臨時雇用者数
拠　点　数	17拠点（北米8、中国4、アジア4、EU1）



2015年9月末現在

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

12次中期三カ年計画概要（2014年度～2016年度）

会社方針：「圧倒的な競争力をもつシャーシシステムメーカーになる」

基本事業戦略

1．シャーシシステム体質への変革

- シャーシ単体開発から、シャーシ周辺部品も含め複合的に開発（シャーシシステム）する体制への転換

2．グローバルオペレーションへの進化

- 拠点のグローバル展開
  →24時間体制の実現
- 開発基盤システムの導入
  →開発環境のボーダレス化

→ グローバルニーズに最適に対応

3．環境対応技術強化

- 軽量化技術進化
- 新加工技術
- 電子化

目標

業績	売上高　2,000億円 営業利益　100億円（営業利益率5％以上） 有利子負債依存度：30％以下
拡販	・欧米系メーカーへの販路拡大 ・GM売上の拡大 ・ホンダ以外の受注比率向上
技術	・軽量化技術の進化 ・新加工技術の進化 ・新素材の加工技術の確立
開発	・複合機能モジュール開発 ・電子化部品の対応 ・軽量化設計

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

経営理念・4つの強み

社是

わたしたちは世界的視野に立ち、高い志と誠をもって価値を創造し、
国家社会に貢献すると共に豊かな未来を築く事に全力を尽くす

エフテック3つの基本精神

1 Challenging Spirit ～挑戦～

常に卓越を目指すことを奨励する

2 Respecting People ～尊敬～

人間の尊厳に立脚している

3 Making Profit ～利益～

利益を上げる事は最も重要な事である

4つの強み

研究・開発力

- 時代の要請に対応した新技術や新製品の開発を日々実現

生産技術力

- 経済的で高効率の生産ラインを実現、品質の高いモノづくりを実践

国際競争力

- 世界のOEMへ部品供給を実現すべく、グローバルな事業展開を推進

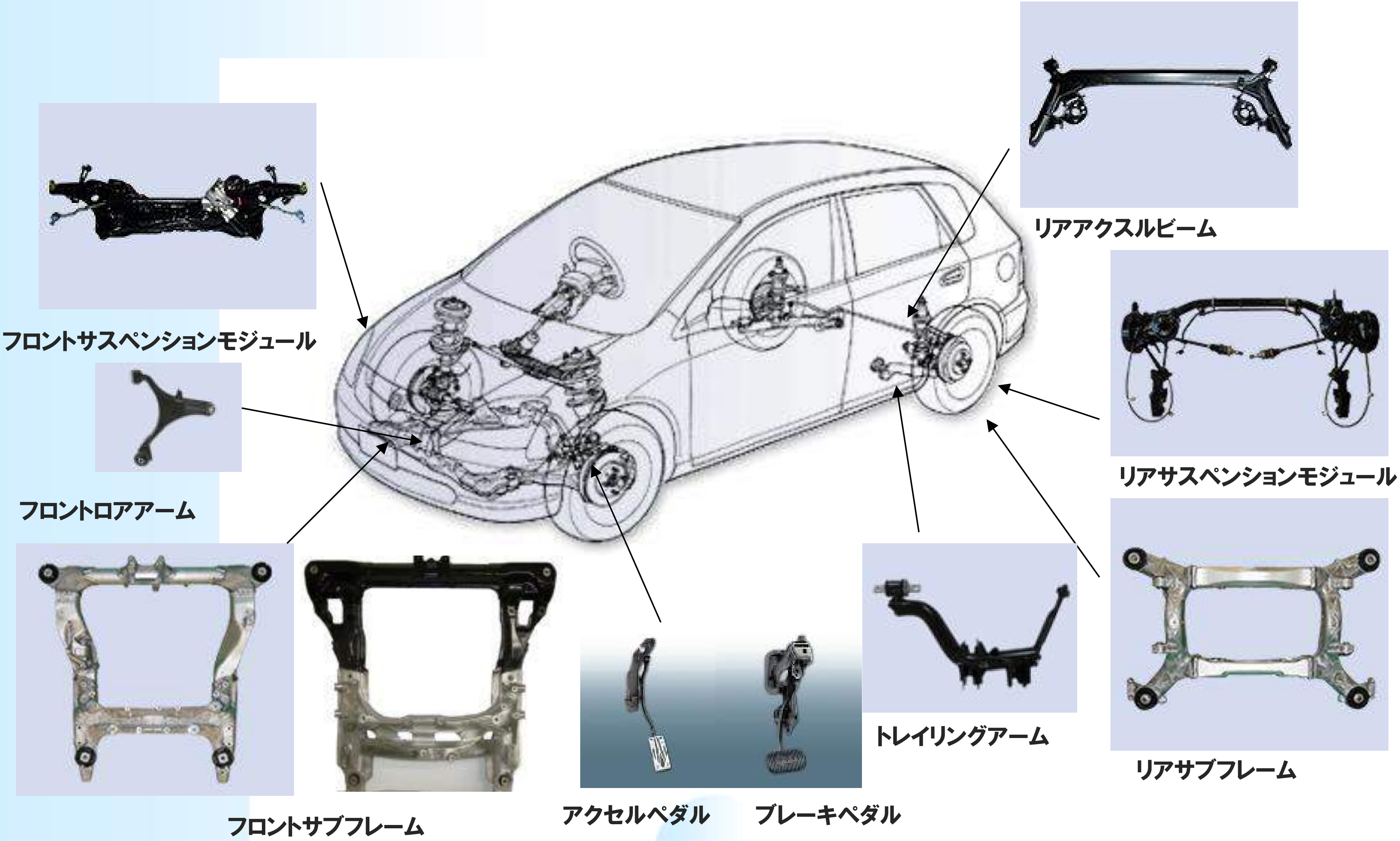
人間力

- 一人ひとりのチャレンジ精神が新たな領域に踏み出す大きな力に
- 人間尊重の社員教育の実践

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

事業内容(製品概要)

事業内容:自動車向け足回りサスペンションアーム、サブフレーム、ブレーキペダル、トーションビーム



Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

拠点概要①国内拠点

＜本社機能・生産拠点＞

本社・久喜事業所

＜生産拠点＞

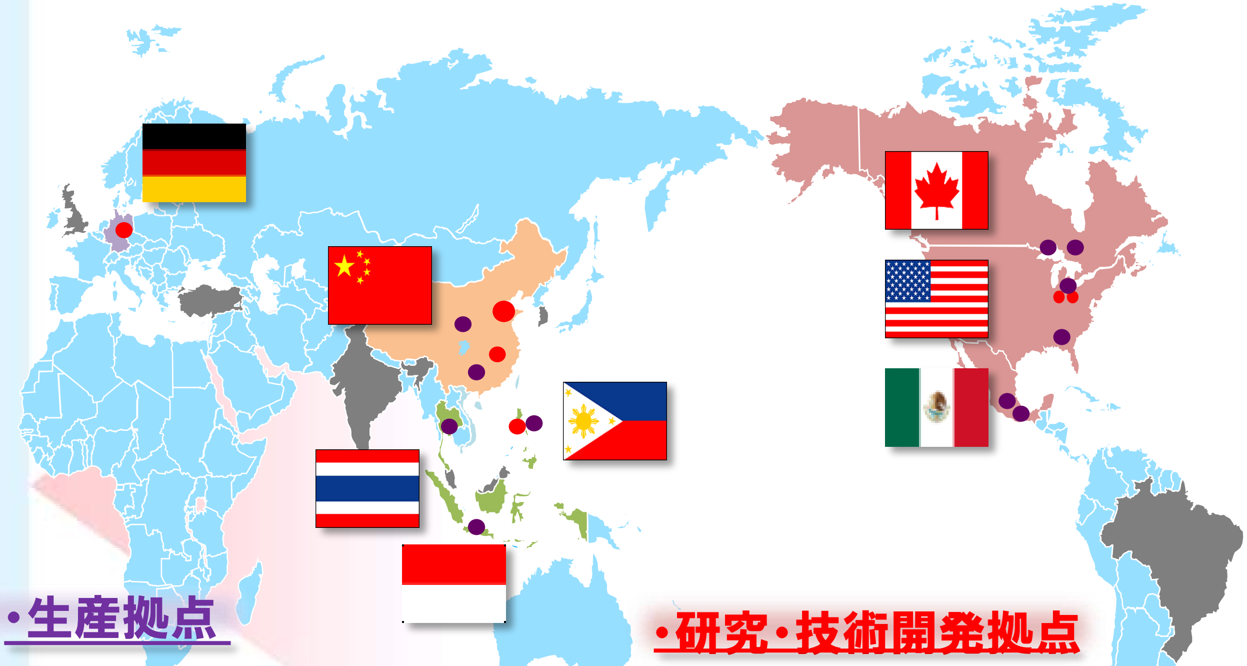
亀山事業所

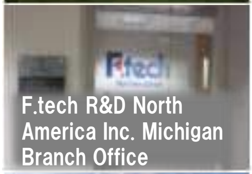
＜研究・技術開発拠点＞

芳賀T/C

- 本社
- 国内事業所
- 国内子会社

拠点概要②海外拠点





・生産拠点

北米　6 （カナダ・アメリカ・メキシコ）	
中国　2 （中山・武漢）	アジア　3 （タイ・フィリピン・インドネシア）

・研究・技術開発拠点

北米　2 （オハイオ・ミシガン）	欧州　1 （ドイツ）
中国　2 （広州・煙台）	アジア　1 （フィリピン）

● 生産拠点
● 研究・技術開発拠点

研究開発能力の更なる向上を図り新規ビジネスを獲得

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 業績予想

3. 基本情報

4. 経営戦略

5. トピックス

代表取締役社長
福田　祐一

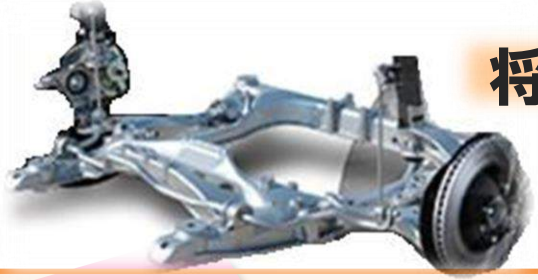
Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

12次中期進捗状況（2014年～2016年）

	目標	今期通期予想
業績	売上高　2,000億円 営業利益　100億円 （営業利益率5%以上） 有利子負債依存度：30%以下	売上高　1,940億円 営業利益　65億円 （営業利益率　3.4%） 有利子負債依存度：41.2%
拡販	・欧米系メーカーへの販路拡大 ・GM売上の拡大 ・ホンダ以外の受注比率向上	・欧米系メーカへの販路拡大中 ・GM売上高19%UP ・他販売比率前期比1.7%UP
技術	・軽量化技術の進化 ・新加工技術の進化 ・新素材の加工技術の確立	・超精密塑性加工技術（FUT－1） ・異材接合技術
開発	・複合機能モジュール開発 ・電子化部品の対応 ・軽量化設計	・多軸ロードシミュレーターの導入 ・オプティマイゼーションの導入

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

シャーシシステム体質への変革



将来

複合でのシステムとして最軽量開発

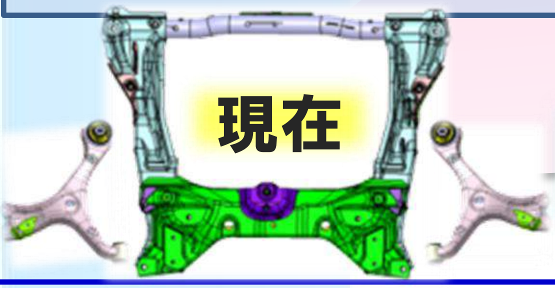
組み付け完成状態での総合品質保証

最適加工技術の実現

シミュレーション技術を駆使して最適化設計

ブッシュ、ボールジョイントの自社調達化

最軽量、高剛性を両立し、コスト競争力ある単体部品の開発、提案



現在

地域特性やお客様のニーズを正しく把握し、最適提案

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

業界随一のシミュレーション技術と開発プロセス

1 設計

■最新のCADシステムで製品を構想

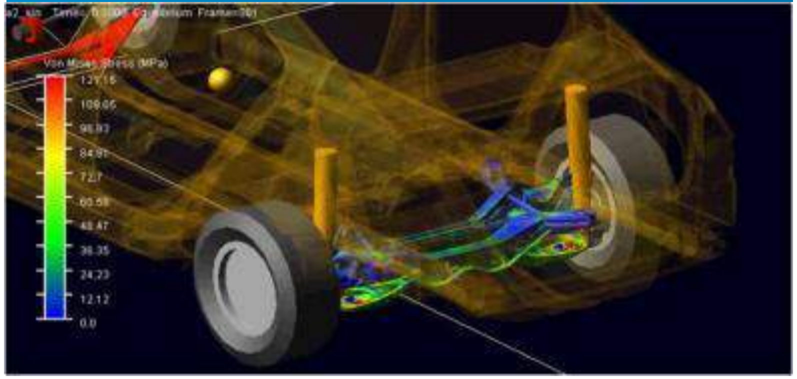
2 CAEシミュレーション

■最新CAE解析により最適設計技術を進化

■シャーシシステムとしての提案力を強化

■システム最適仕様を実現・強度・耐久性を維持しつつコストを抑えた軽量化実現

ADAMSシミュレーション



サスペンションアーム・サブフレーム等構成部品をトータルで評価、システムにおける部品最適仕様の提案ができるシャーシシステムメーカーへ

3 試作・製品試験

■CAE解析後、試作品による複数加振機による台上耐久テスト

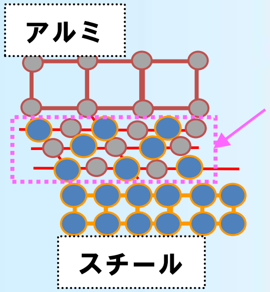
■**多軸ロードシミュレーターの導入（2014年）**
サスペンションシステムを実車同等の条件で台上テストを行い、効果的に最適設計

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

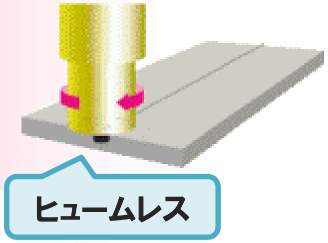
異材接合技術

- スチール/アルミのFSW異材接合ハイブリッドサブフレーム＝世界初の技術
- 軽快な車両走行性能と低燃費を高次元で両立、生産工学、生産技術の研究開発高度生産方式の実施等に関し、学術進歩と産業発展に貢献した顕著な功績に対し贈られる大河内記念技術賞を受賞

断面図



スチール-アルミの
金属間化合物
が生成される



新モデルアコードにおける量産体制の確立

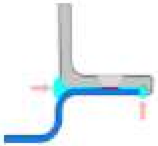
- 軽量化 △25%
- 運動性能向上
  サスペンション取付点剛性向上 ＋20%
- 製造エネルギー低減 省電力化 △50%

US新型アコード

- 生産：1500台以上/日

世界初新技術

①スチール/アルミ異材FSW線接合技術



②構造・防錆技術

③産業用ロボットを用いたFSW接合システム

④赤外線カメラ/レーザによる非破壊検査システム

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

一般社団法人　日本溶接協会　WEBマガジン掲載

本田技術研究所様　資料提出

FSW加工技術

※動画再生しません

資料提供したFSW動画(一部)

第18号特集　自動車サブフレームのFSWによる異種金属接合技術実用化

WE-COMマガジン第18号(2015年10月発行)の目次

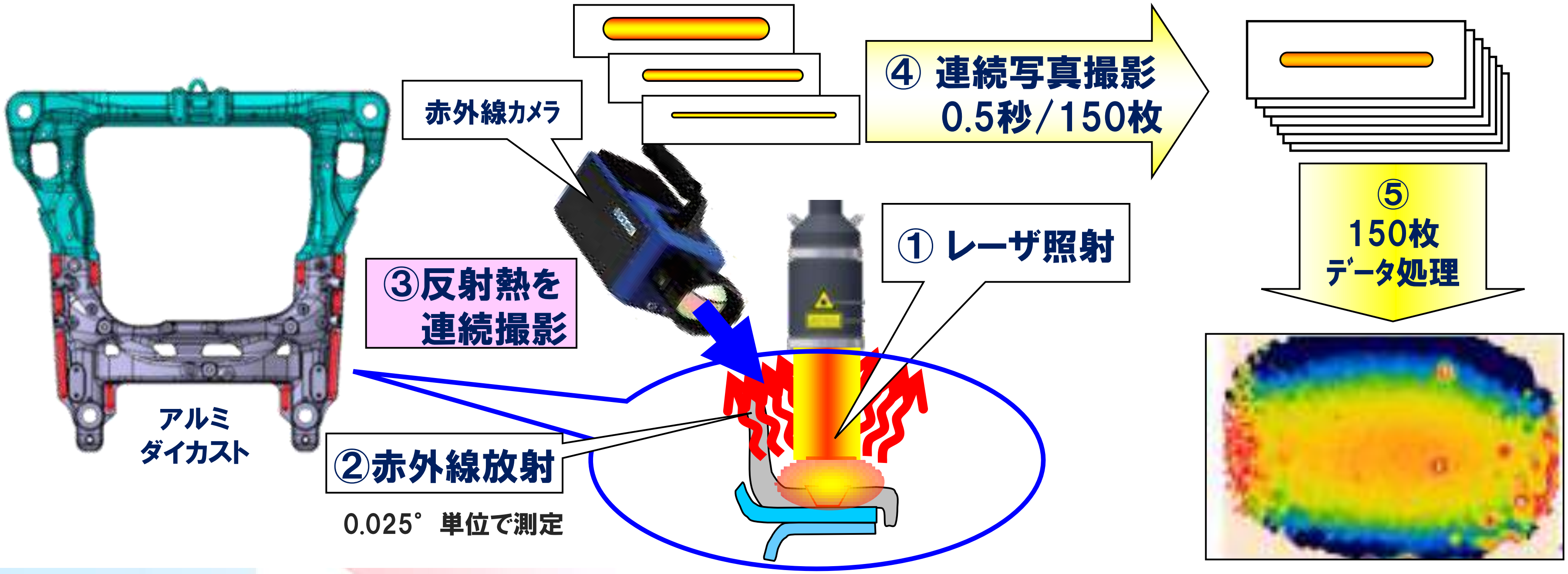
1. 自動車サブフレームのFSWによる異種金属接合技術実用化
2. 可視化用レーザ照明を用いた溶接現象の可視化手法
3. 光造形方式のアディティブ・マニュファクチャリングによる積層造形
4. 大阪大学接合科学研究所 国際溶接技術者(IWE)コースの修了生を訪ねて
   (1) 学生時代に国際溶接技術者 / IWEを取得して —IWEコース受講から現在までを振り返る—
   (2) 若手IWE(International Welding Engineer)の今 —資格取得から現在に至るまで—

WE-COMマガジン第18号

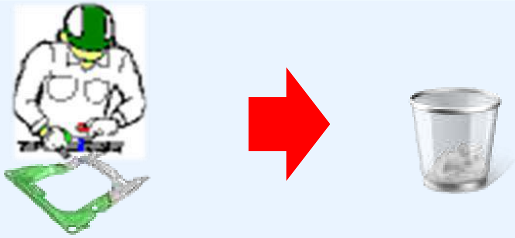
Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

FSW(非破壊検査システム)

接合部構造の熱伝導の違いを利用し、赤外線の位相を検出し判定するレーザ励起方式



- 従来の人作業を自動化
- 品質保証システムの確立
- 破壊検査工数と廃却仕損費のゼロ化を実現



Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

従来の ファインブランキング

平板抜き構造が一般的

材料歩留り 20%向上

超精密塑性加工技術 『FUT－1』

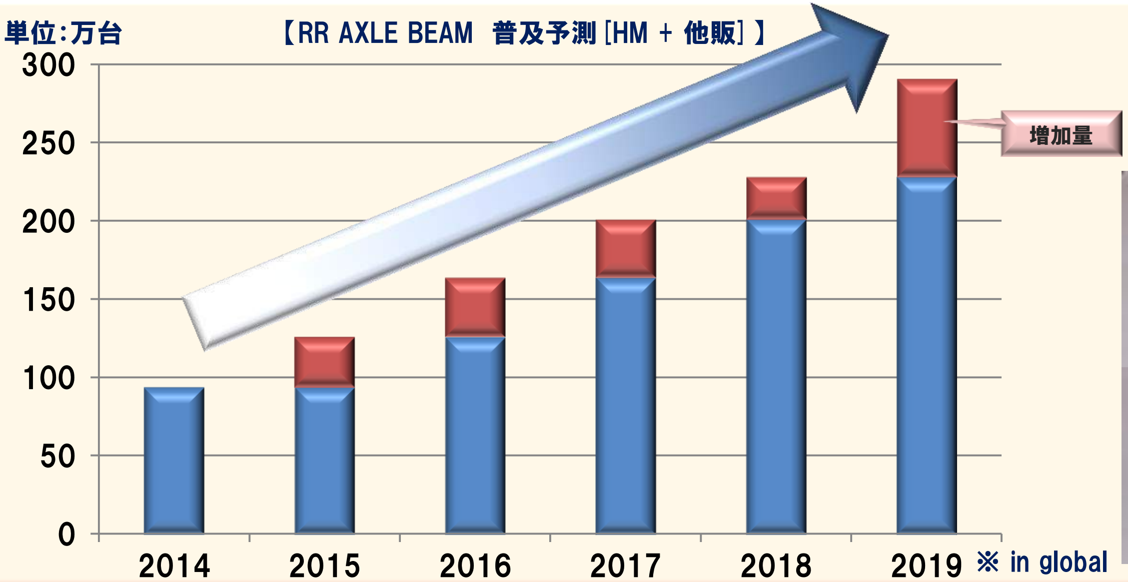
≪ F.tech Ultimate Technologies System ≫

Step1 スクラップ最小化

Step2 圧造による軽量化

超精密抜き+圧造成形技術の確立

Step3 スクラップ流用+新部品へ



※ in global

FUT-1 生産量

5年で3倍増

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 業績予想

3. 基本情報

4. 経営戦略

5. トピックス

代表取締役社長
福田　祐一

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

新機種受注状況

本田技研工業からの新機種受注

軽量化、強度・剛性を両立、コスト競争力で
他社との差別化を図り、継続した受注を実現

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

新機種受注状況

本田技研工業以外のOEMからの受注

日系、欧米系、中国民族系OEMより開発力を評価され、受注を拡大中

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

新機種受注状況

General Motors

車名：Buick Excelle
生産拠点：偉福科技工業（武漢）有限公司
受注部品：FR CRADLE　STAY R/L

年間売上高：USD 18,285K
生産台数：230,000台/年
量産開始：2015年1月

北京汽車

車名：紳宝(センバオ)
生産拠点：偉福科技工業（中山）有限公司
受注部品：FR SUBFRAME

年間売上高：RMB 14.7M
生産台数：38,600台/年
量産開始：2015年1月

MITSUBISHI

車名：PAJERO SPORTS
生産拠点：F-TECH MFG. (THAILAND) LTD.
受注部品：ARM COMPL, UPER LH/RH　ARM COMPL, LOWER LH/RH

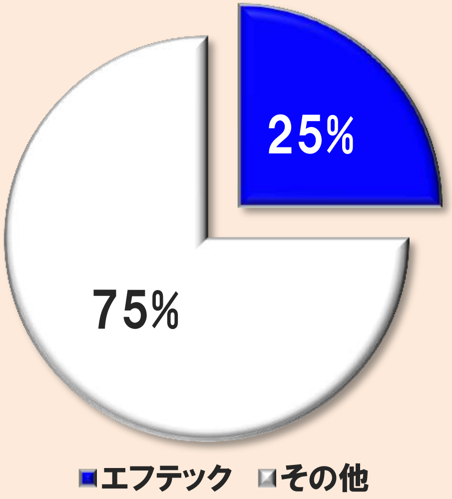
年間売上高：THB 38.1M
生産台数：56,000台/年
量産開始：2015年9月

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

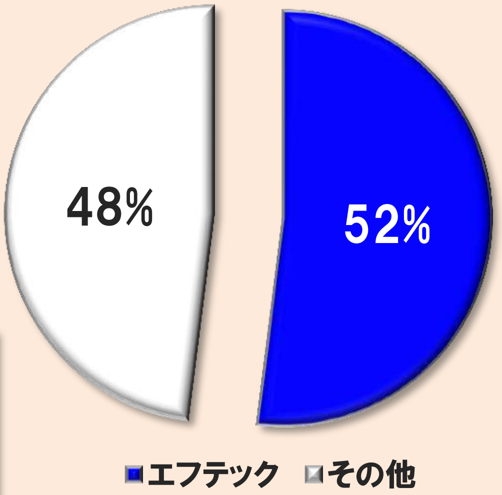
日産車ペダルシェア／GMサブフレームシェア

【日産車における当社のペダルシェア】

2010年

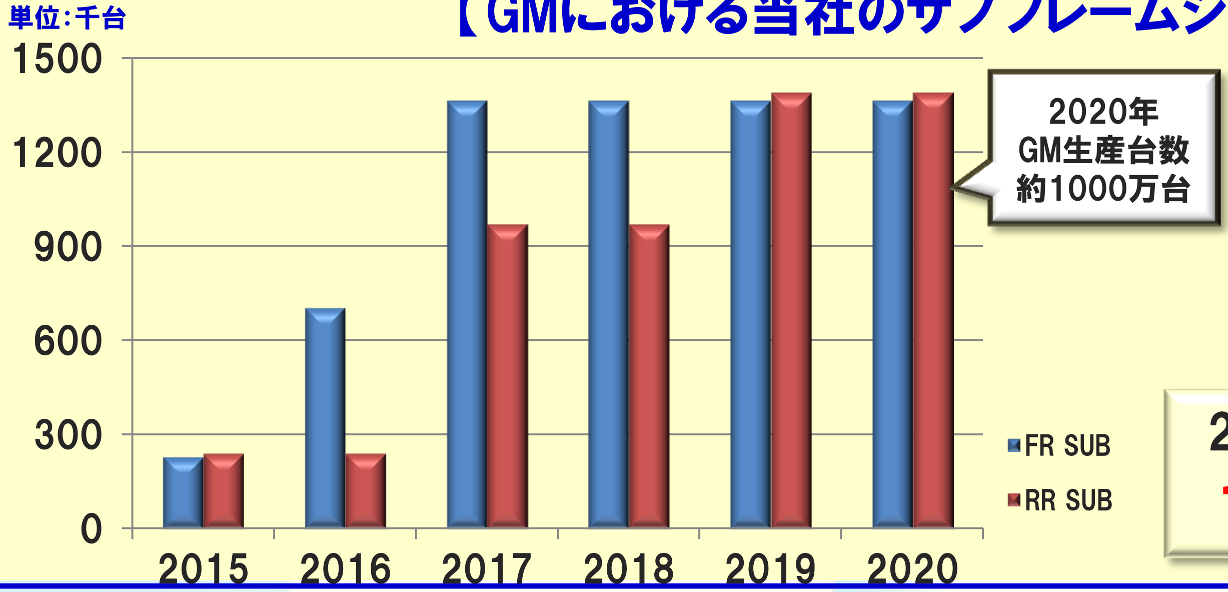


2018年



2018年までに
52%のシェア獲得

【GMにおける当社のサブフレームシェア】



2015年 ⇒ 2020年

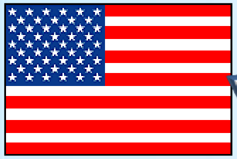
FR SUB
2.5% ⇒ 13.0%

RR SUB
2.5% ⇒ 13.2%

2020年までにFR/RRともに
13%のシェア獲得

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

生産能力拡充拠点



2015年
6月

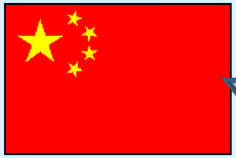
F&P America

・3000tTRFプレス機　生産開始
（サーボプレス機）

・1000tPRGプレス機　生産開始
（サーボプレス機）

3000t→

←1000t



2015年
8月

FTW（武漢）

・3000tTRFプレス機　生産開始

2016年
10月

FPMX（メキシコ）

・3000tTRFプレス機　量産予定

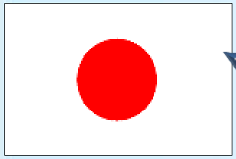
・1000tPRGプレス機　量産予定

建屋→

GM生産対応の為、能力拡充

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

生産能力拡充拠点



2015年
10月

九州エフテック

・冷間鍛造機

競争力を高めることで
中国・アジアへの供給拡大により国内回帰を図る

2015年
11月

DYNA-MIG (カナダ)

・冷間鍛造機

最新型高速鍛造機を導入し、新規ビジネスを拡大

2015年
9月

F&P (カナダ)

・シビック
RR Module Assy

システムモジュールへの取り組み

地域特性に応じた事業領域の拡大

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

海外アライアンス状況

- 空白地域におけるアライアンスのベストミックス
- 更なる最適供給体制を確立していく

【国名】	【提携先】
英国	ThyssenKrupp Tallent YUTAKA (UYS)
トルコ	YPS
台湾	成宇工業
韓国	SMC
メキシコ	FORMEX
ブラジル	ThyssenKrupp Tallent BENTELER

【国名】	【提携先】
英国	GESTAMP TALLENT YUTAKA (UYS)
トルコ	YPS
台湾	成宇工業
韓国	SMC
インド	VeeGee Chasys
中国	SHAC POS-AUSTEM
マレーシア	EEPW
ブラジル	COSMA GESTAMP

グローバルな提携戦略で世界最適部品供給体制の実現

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

環境活動

日本

**第1回エフテック森林づくり
「エフテックの森」**

**「省エネ・作業環境等」考慮
新建屋建設（リテラ）**

**アダプトプログラム、
敷地外美化活動（亀山）**

北米

**Award of Excellence
3年連続受賞（DYNA-MIG）**

アジア

**HCPI優良感謝賞
（FPMI）**

コーポレートガバナンスコードへの対応

コーポレートガバナンスコードへの対応は、当社の持続的な成長と
企業価値の向上に寄与するとの考え方のもと、真摯に取り組んでまいります。

コーポレートガバナンスコード	73項目
Explain項目	8項目程度

主なExplain項目

- ・中長期経営計画の進捗報告、検証
- ・役員報酬へのインセンティブ付（自社株報酬等）
- ・独立社外取締役の2名以上選任
- ・特に重要な事項への任意の仕組み活用
- ・取締役会の実効性評価

2015年11月
開示予定です

適切な情報開示に努め、株主の皆さまと建設的な対話に努めてまいります。

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

インフォメーション

ホームページが7月に完全リニューアルいたしました
ホームページを活用し適時適切な情報開示を行っています

http://www.ftech.co.jp/

http://www.ftech.co.jp/company/

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved

ご清聴ありがとうございました

F.tech inc.

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは
株式会社エフテック　管理本部　総務ブロック/経理ブロック
代表TEL：0480-85-5211　Mail：webmaster@ftech.co.jp

Copyright (c) 2015 F.tech Inc.All Right Reserved